

# 郷土の刃剣II

令和五年二月二十五日(土)

三月二十六日(日)

会場 津山郷土博物館3階展示室

津山郷土博物館  
Tsuyama City Museum



刀 銘：美作国津山之住兼景作之  
元和二年八月大吉日



脇差 銘：作州士正利於豊州岡為阿南惟正造  
嘉永六年八月日



短刀 銘：作陽幕下士細川正守 (刻印)  
慶応二年八月日



【岡山県指定重要文化財】

大身槍 銘：関金重遠裔多田三郎左衛門藤原金利奉命於鶴山麓造之  
文化十二乙亥年二月日

会 期／令和5年2月25日(土)～3月26日(日)

開館時間／9時～17時(入館は16時30分)

休 館 日／月曜 祝日の翌日 その他

入 館 料／一 般 300円(240円)

高校・大学 200円(160円)

65歳以上 200円(160円)

※( )内は30名以上の団体料金

共 催／日本美術刀剣保存協会岡山県支部津山分会

津山郷土博物館

Tsuyama City Museum

〒708-0022 岡山県津山市山下92 Tel.0868-22-4567  
http://www.tsu-haku.jp E-mail: tsu-haku@vtv.ne.jp

## ACCESS MAP



アクセス／

JR津山駅から北へ徒歩15分

中国自動車道 津山・院庄ICから車で15分



岡山県で刀剣といえば備前長船が有名ですが、津山でも江戸時代には津山藩が召し抱えた刀工がおり、津山や江戸の藩邸などで作刀が行われ、現在でも多くの刀剣が残されています。

この展覧会では、昨年に引き続き、これら郷土津山にゆかりのある刀工の作品の中から江戸時代初期、森家時代に津山藩の刀工である兼景によりつくられた新刀から江戸時代後期に細川正義などによって製作された新新刀、現代の津山の刀工による現代刀までを中心に、郷土津山の刀工とその優品を紹介します。



刀 銘：美作国津山住兼先



刀 銘：作陽幕下士細川源正義造（刻印）  
文政七甲申年二月吉日



刀 銘：作陽幕下士細川正守（刻印）  
慶応三丁卯年二月日



刀 銘：於熊府作陽幕下士正利  
弘化五戌申年二月日



刀 銘：城慶子正則造  
明治三年八月日



刀 銘：作州住国重作



脇差 銘：多田貴勝浪花制  
寛政十二年八月日



脇差 銘：作陽之士多田正則  
元治二丑年初春日



脇差 銘：作陽士城慶子正明  
安政六己未年仲春